

教科・科目		単位数	対象学科・学年・クラス		備考
芸術	美術 I	2 単位	全学科	3 年 3 クラス	選択必修科目

## 1 学習の到達目標等

学習の到達目標	美術の幅広い活動を通して、美術を愛好する心情を育て、感性を豊かにし、表現と鑑賞の能力を伸ばします。
使用教科書	美 I 光村図書
副教材等	

## 2 学習計画

学期	学習項目	学習の具体的内容
1 学期	(鑑賞) オリエンテーション	これからの美術の学習について知り、評価方法などを理解する。
	(絵画・彫刻) 身近なものを描く	身近なものを描きながら、形・色・光・陰影を理解する。 鉛筆・絵具など、様々なもので描くことで、その素材・道具の性質を理解する。 思い描いている世界・実際の世界などをイメージして表現しよう。
	(鑑賞) 作品鑑賞	自分が描いたものを見直して言葉にすると同時に他の人がどう考え描いているかを知ろう。
2 学期	(鑑賞) 技法を調べてみよう	日本画・洋画の違いについて、日本の文化と呼ばれる漫画などについてレポートし理解を深める。
	(絵画・彫刻) 日常を出されたテーマで制作	素材・道具は自由。自分で選び素材などを選び持ってきて、高校生最後の出来事を表現しよう。
	(デザイン) オリジナルアクセサリー	工芸という普段なかなか縁がない素材で、生活の中で使える自分らしい作品を作る。
3 学期	(デザイン) オリジナルバック	バックのサイズ・形・用途を理解し、自分なりのデザインを施す。 色彩、レイアウトなどの大事さを理解する。
	(鑑賞) 学習まとめ	1 年間の学習を振り返り、制作した作品や学んだことを整理し、美術について更に理解を深める。

## 3 評価の観点、内容および評価方法

評価の観点および内容		評価方法
関心・意欲・態度	意欲的・主体的に美術活動に取り組んでいる。喜びを味わいながら創造的な表現能力と鑑賞能力を身につけようとしている。	学習活動観察 アイデアスケッチ レポート 作品
思考・判断	感性を働かせて自然・造形の良さや美しさを感じ取り、創造的に表現を工夫している。	学習活動観察 アイデアスケッチ レポート 作品
観察・実験の技能・表現	素材・道具を生かして創造的な表現をするために必要な技術を身につけている。	学習活動観察 作品
知識・理解	美術作品作者の心情や意図と表現の工夫、生活や自然と美術との関連などを理解している。	学習活動観察 レポート